



トルコ –トルコ中央銀行が緊急利上げ–

POINT 利上げの背景

5月23日(現地時間)、トルコ中央銀行(以後中銀)は当初6月7日に予定されていた金融政策決定会合を緊急前倒しで開き、後期流動性貸出金利を13.5%から16.5%へ3%引上げました。

今回の利上げの背景には、①高止まり状態のインフレ率への対応、②下げ止まりを見せないトルコリラへの通貨防衛、③中銀へ圧力を掛け続けるエルドアン大統領に対する中銀の独立性保持への意思表示等があったのではないかと考えられます。

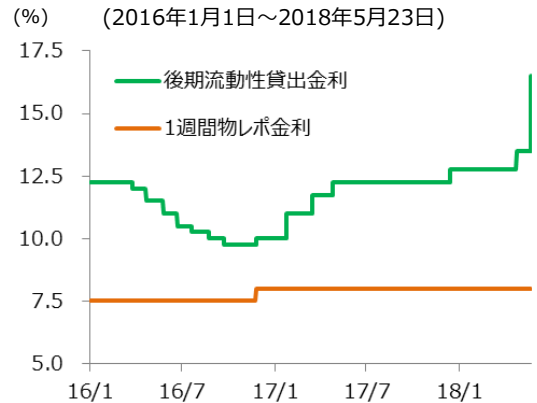
POINT 高インフレ傾向が継続

4月のインフレ率は前年同期比で+10.85%(コアは+12.24%)と高止まりしています。中銀が目指しているインフレターゲットは、+5%±2%(下限3%~上限7%)であり、大幅に上回っている状況です。今後の金融政策において最も注目される指標です。

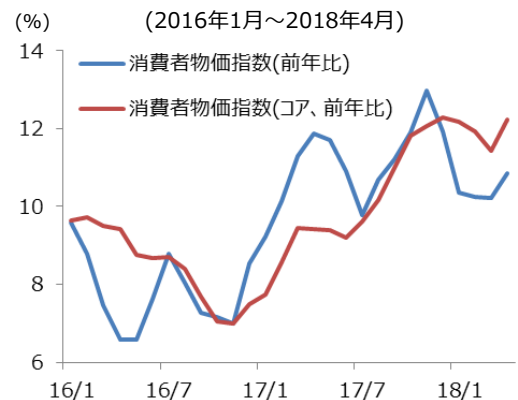
今後の見通し 不安定な動きがしばらく続く

今回の利上げにより、トルコリラへの投資魅力は高まった一方で、エルドアン大統領の中銀への圧力を強める趣旨の発言による政治リスクに加え、シリアやイスラエル首都問題等の中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりから、当面、トルコリラは不安定な動きとなることと考えられます。

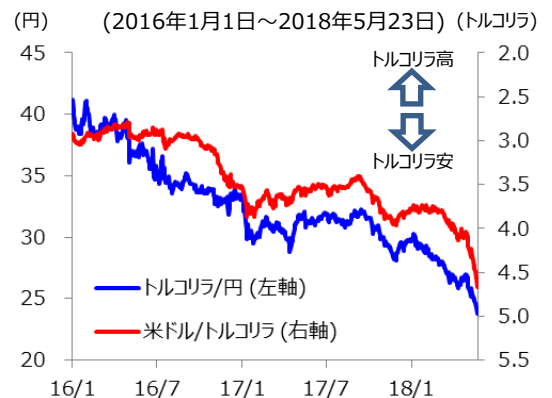
–政策金利の推移–



–インフレ率の推移–



–トルコリラの推移–



出所：Bloomberg